

STEP 4-2 期末評価

事業全体の目的と目標の確認

事業全体の目的	業務障害疾患、乳がん、鬱に関して医療費の抑制を目的とする。 また、喫煙率等生活習慣を改善させることで将来的なリスク対象者の発生を抑制する。		
事業全体の目標	・インフルエンザ予防接種、乳がん検診の受診率をモニタし、受診率の向上施策を検討する。 ・職場のストレスチェック等事業主とコラボしながら状況をモニタし、対策を検討する。 ・分煙対策等状況をモニタし、対策を実施する。		

健康課題ごとの振り返り

1	歯科、業務障害疾患の医療費総額が高額である。新生物については女性の乳がんの割合が高い。また、鬱等の精神疾患に関しては患者数が多い。							
対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	乳がんの触診キットの配布をするなど、認知活動を実施し、対策を実施する下地を作ることができた。					
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	A							
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度 令和5年度
2	本人喫煙率が男性49.1%、女性16%と健保連同業種平均より高い。							
対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	禁煙プログラムを導入し、禁煙施策を実施した。現在、喫煙率は改善傾向にある。					
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	A							
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度 令和5年度
3	本人の朝食欠食率が男女ともに健保連の同業種平均より高い。							
対策の達成度 (アウトプットの評価)	D	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	勤務体系が一定ではないことから朝食欠食はやむを得ない事情であることが分析・事業主との協力により判明し、対策は難しいということがわかった。					
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	D							
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度 令和5年度
4	BMI値について、高い者もいるが、低すぎる者も多い。3の朝食欠食率と合わせて栄養不足が懸念される。							
対策の達成度 (アウトプットの評価)	D	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	情報収集を継続して実施し、今後の情報発信の下地を作ることができた。					
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	D							
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度 令和5年度
5	特定健診受診率が本人・被扶養者ともに単一健保平均よりも低い。加入退盟が多く、健診受診タイミングが合わないことや、入社初年度には健診受診をスキップするケースがある。							
対策の達成度 (アウトプットの評価)	A	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	健診の受診をしやすい状況を整えて、定期的な予約リマインドを実施し、受診率の向上を図った。 被保険者については、事業主との協同施策として実施することで、意識向上を図ることができた。					
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	A							
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度 令和5年度
1	特定健診	受診勧奨メール	100.0%	100%	100.0%	受診率(本人)	99.2%	98.0% 99.4%
						受診率(家族)	129.6%	108.0% 118.5%

健康課題と紐付いていない事業一覧

該当なし（これまでの経緯で実施する事業）								
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度 令和5年度
1	健康管理のICTツールの提供、健保ホームページの運営	登録率	-	-	-	設定なし	-	- -
		ガイドブックの配布率	-	-	-			
		KENPOS登録率	102.6%	99.5%	-			
		HPの更新回数	-	-	100.0%			
2	特定保健指導	実施対象者へのアプローチ率	149.7%	-	-	実施率	105.9%	117.2% 117.2%
		提携業者の契約	-	-	-			
		対象者へのアプローチ率	-	135.0%	100.0%			
3	基本健診、生活習慣病健診	受診勧奨回数	100.0%	100.0%	100.0%	受診率	85.1%	95.3% -
4	各種オプション検診	受診勧奨の実施回数	100.0%	3%	100.0%	補助金給付件数/対象者数	158.0%	265.7% -
5	インフルエンザ予防接種	接種実施率	62.0%	49.1%	49.3%	設定なし	-	- -
6	育児情報誌の配布	対象者への配布率	-	-	100.0%			
該当なし								
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度 令和5年度
1	健診結果管理ツールの提供	登録率	95.5%	99.5%	-	閲覧率	172.0%	76.0% -
		KENPOS登録率	-	-	-			
		結果登録率	-	-	100.0%			

第2期のデータヘルス計画への取り組みに対する振り返り

No	設問	回答	評価理由（成功要因や阻害要因など）
		←全くなかった よくできた→	
1	STEP1-3基本分析において、自組合集団としての健康状態を客観的に可視化できたか？		外部業者に委託することで、十分に可視化することができた。
2	STEP2健康課題の抽出において、適切に健康課題を抽出することができたか？		自組合の特徴に合わせて適切に抽出することができた。
3	STEP2健康課題の抽出において、優先すべき健康課題や対策の方向性を的確に定めることができたか？		自組合の特徴に合わせて定めることができた。
4	STEP3 保健事業の実施計画において、事業全体の目的や目標を適切に掲げることができたか？		目標について、実施が難しい目標があった。
5	STEP3 保健事業の実施計画において、「保健事業の基盤」に関わる保健事業を適切に立案することができたか？		設立当初で事業主側の協力を得る部分などの地盤づくりに時間を要した。
6	STEP3 保健事業の実施計画において、「個別の事業」に関わる保健事業を適切に立案することができたか？		適切に実施することができた。
7	STEP3 保健事業の実施計画において、保健事業の評価指標を適切に設定することができたか？		数値を抽出することが難しい項目を立てている部分があった。
8	STEP4-1 事業報告において、年次の事業進捗やアウトプット、アウトカムを評価することができたか？		事業報告及び組合会で現状と課題を報告して、保健事業の見直しを図ることができた。
9	STEP4-1 事業報告を理事会や組合会での報告に活用し、次年度の事業計画に活用することができたか？		事業報告及び組合会で現状と課題を報告して、保健事業の見直しを図ることができた。
10	保健事業を実施するにあたって事業主とのコラボヘルスの体制をどの程度構築することができたか？		保健指導・インフルエンザ・乳がん検診等について、事業主の理解を得て、強い協力を得られるようになった。
11	加入者のヘルスリテラシー向上に向けた取り組みを行うことができたか？		健保の加入者構成に応じた情報提供の実施を積極的に行うことができた。

事業全体の達成状況に関する総括（自由記述）

- ・設立間もなく、第2期では現状把握を重点的に実施した。
- ・加入者構成として、平均年齢が若く、女性が多いという特徴的な健保であり、一般的な健保特徴に当てはまらない部分もあるため、加入者構成に基づく課題の抽出、加入者構成に応じた施策の検討を行った。
- ・コラボヘルスの取組として、健保と事業主との距離が健保設立後は近くなり、健保の情報発信の協力が得やすくなり、多くの保健事業において、事業主の協力を得ることができた。